

1. 概 要

本仕様は、INSネットサービスのユーザ・網インタフェースにおける網コネクションの設定、維持及び切断復旧のための手順を規定しています。これらの手順は、基本インタフェース構造及び一次群速度インタフェース構造におけるDチャンネルを介して送受されるメッセージに関して規定したものです。

TTC標準JT-Q931「ISDNユーザ・網インタフェース レイヤ3仕様」〔第6版〕（以下〔第6版〕は省略します）に準拠しています。

1. 1 本仕様の範囲

未提供

本仕様で記述する手順は、回線交換接続制御及び一時的信号接続制御に関するものです。

（注） レイヤ3という用語は、本仕様に記述されている機能とプロトコルに適用されます。データリンク及びレイヤ2という用語は、レイヤ3のすぐ下のレイヤに対して同じ意味で適用されます。

1. 2 インタフェース構造への適用

レイヤ3の手順は、TTC標準JT-I412で規定されるインタフェース構造に適用され、レイヤ2仕様で示しているレイヤ2の機能とサービスを用います。その中の非確認形情報転送は、レイヤ2仕様5.2節に述べるようにポイント・マルチポイント接続手順を提供するため、レイヤ3により使用されます。

レイヤ3の手順は、レイヤ2仕様で定義されるプリミティブを用いて、レイヤ2のサービスの要求やレイヤ2からの情報を受信します。これらのプリミティブは、プロトコルレイヤ間の通信を示すのに用いられますがインプリメントを規定するものではありません。

ポイント・ポイント（P-P）接続手順とは、レイヤ3メッセージがポイント・ポイントデータリンク上を転送される時の手順を意味します。ポイント・マルチポイント（P-MP）接続手順とは、着信時のレイヤ3「呼設定」メッセージが、放送形式データリンク上を転送される時の手順を意味します。

ポイント・ポイント接続手順及びポイント・マルチポイント接続手順については、付録10で説明します。
